

避難所生活

男女共同参画の視点をもった避難所運営

避難所の運営には女性の参画を

女性のニーズにきめ細かく対応できるように、避難所運営には女性を配置する必要があります。

役割分担の偏りをなくす

食事作り、片付け、物資の運搬など、性別で役割分担を固定しないよう配慮が必要です。

女性に配慮した環境整備

女性用トイレを多くする、女性に対する暴力等の予防のため安心して使用できる授乳室や更衣室を設置するなどの配慮が必要です。

避難所生活は、家族以外の人たちとの共同生活です

避難所は、災害によって自宅で暮らすことができなくなった人たちが生活する場所です。

この避難所には、高齢者、障がい者、妊産婦、病弱者、乳幼児、外国人、性的少数者(LGBT)等、さまざまな人たちが避難してきます。

避難者のみなさんが、安心・安全な避難生活を送るためには、一人ひとりの「ちょっとした気づかい」が必要です。

ペットと避難する際のルール

ペットとの避難は可能です。ただし、避難所までは一緒に避難できますが、飼い主と同一の空間で過ごすことはできません。

また、避難生活でのペットに関するトラブルを防ぐためにも、次のような備えをしておきましょう。

ペットの健康管理と身元表示

避難生活ではペットも免疫力が低下するため、ワクチン接種や寄生虫の予防・駆除など、日ごろから健康管理に十分配慮しましょう。また、迷子に備えて首輪にGPSを埋め込む、ペットの身体にマイクロチップを装着する、迷子札などで身元表示をするなどのほか、ペットの写真を携帯電話やスマートフォンで撮影・保存しておくことも大切です。

ペット用品の備え

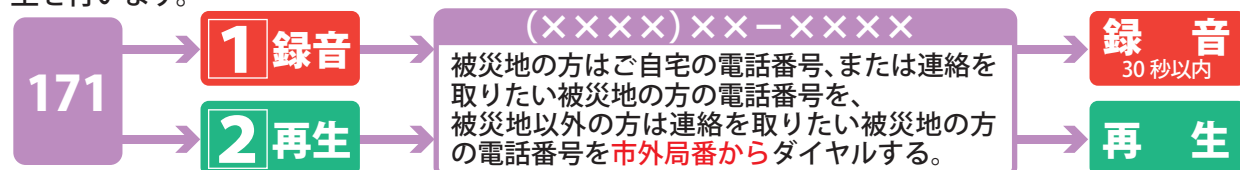
フードや水、常備薬、トイレ用品などを備蓄し、一緒に避難する場合に備え、ケージやキャリーバッグも忘れずに用意しましょう。

日ごろのしつけ

トイレの仕方、ケージやキャリーバッグに慣らしておく、人や動物を怖がったり、攻撃的にならないようにしておくなど日ごろのしつけが肝心です。

災害用伝言ダイヤル 171

大規模災害発生時に電話がつながりにくい状況になった場合に、安否情報を録音し伝えることができるNTTのボイスメールサービスです。「171」にダイヤルし、音声ガイダンスに従い伝言の録音や再生を行います。



※詳しい内容はNTT東日本のホームページでご確認ください。 [ホームページ](https://www.ntt-east.co.jp/saigai/) <https://www.ntt-east.co.jp/saigai/>

携帯電話各社の災害用伝言板

携帯電話会社では、大きな災害が発生した場合に、各社携帯電話のネット上に「災害用伝言板」が緊急開設されます。緊急時に備え、事前に使用方法を確認しておきましょう。

お問い合わせ先

音更町総務部危機対策課危機対策係

〒080-0198 北海道河東郡音更町元町2番地 tel : 0155-42-2111
E-mail : kikitaisaku@town.otofuke.hokkaido.jp